

雪洞

糸魚川勤労者山岳会

会長 青木 満 磨
TEL 025-552-9901



(2100)No.50 発行 2019年8月29日



山行記

- ★山域・山名=上信・鼻曲山^{はなまがりやま}1655m、浅間隠山^{あさまかくしやま}1755m
★山行日=2019年8月24-25日(土日)
★山行者=加藤(報告)

▼当初、24-25日はメンバーと北ア・蝶ヶ岳の予定であったが、それぞれ所用のためにキャンセルとなり、一人で行くのはもったいないと思い、いつの日かリベンジできることを願って今回は中止とした。このため単独で上信県境の鼻曲山と浅間隠山に行くことにした。20年前に会のメンバーと訪れていて、すでに記憶がなくなっているの、再訪することにした。

■8/24(土)鼻曲山=曇り時々晴れ

▼軽井沢市街地を通りぬけ、登山口の長日向地区へ向かう。入口がわからず、車で رفتり来たり。ようやく地元の人に会えて教えてもらう。少し広めの所に無断駐車!?!。標識などはなく、教えてもらった通りに別荘地内から奥に入る。

「本当にこの道でいいのか…?」不安に思いながら進んでいくと分岐に標識発見!少し安心して、緩やかな登りを快調に歩く。

▼周囲は何かの動物が出てきてもおかしくない程の針葉樹や広葉樹がうっそうとしている。時々笛を鳴らしながら、林道のような広い道を進む。しばらくして林道と合流、「霧積温泉方面」だけの標識があったので、マップで現在地と霧積温泉を確認。間違いなく鼻曲山に向かっていて、ここから山道に入る。道の両側から草がかぶさってきて歩きにくい所もある。

▼しだいに傾斜はきつくなり、稜線手前の分岐?からはさらに傾斜が増してくる。周囲の展

望も変化もまったくなく、息を切らせて登る。稜線と思われる手前に10m程のロープが流されていて、ザレた道をロープ頼りに登ると稜線に飛び出す。数人が休憩していて、「ここは小天狗、山頂はこの先にある。ここの方が展望いいヨ」と教えてもらって山頂に向かう。

▼すぐに山頂の標識が立つ鼻曲山に着く。周囲に木があって展望はイマイチ。眼下に妙義山がよく見えた。小天狗に戻って昼食、休憩。ここも木に囲まれているが、ハヶ岳が見え、浅間山の山頂部、明日登る浅間隠山等が見えていた。時々日差しもあって暑かったが、木陰で一時間程ゆっくりする。登山者は少なくなかった。

▼往路を下山。多くはなかったがワレモコウ、アキノキリンソウ、フシグロセンノウなどの花を見ることができた。この山の二度上峠コースには今頃レンゲショウマの花が咲いているらしいが、今日のコースでは見ることはできなかった。今回のコースは初めてで、前回の鼻曲山は二度上峠コースを歩いた。下山が早かったので、白糸の滝、浅間大滝、旧北軽井沢駅、浅間牧場などに立寄ってから宿に入る。

▼タイム=長日向登山口 9:55…林道出合
10:45…11:35 鼻曲山
12:40…林道出合 13:05…
13:40 登山口



【写真】鼻曲山でみたフシグロセンノウ すでに終わり始めていた

■8/25(日)浅間隠山＝曇りのち晴れ

▼3箇所程ある駐車場はどこも満杯。登山口から100m程離れた所に一台分のスペースがあり、突っ込む。準備をして出発。気温は22℃程で曇り空ながら気持ちが良い。標識が立っているところから登山道に入る。水が少し流れている沢状の道をしばらく歩く。

▼カラマツ林の中を大きくジグザグを切りながら緩やかに登っていく。なんと、レンゲシヨウマが咲いているではないか！ラッキー。こちらの山にはないかと思っていたのでうれしい。カメラに収める。踏み跡はしっかりしているが、草が覆いかぶさっている所もある。この辺の山はあまり手入れがされていない感がある。

▼登っていくと尾根に出て樹相が広葉樹に変わり、林床は背の低い笹に覆われていて緑がきれい。ここも大きくジグザグを切る。やはり樹林に囲まれていて視界の開けるところはない。グループなど何人か追い越す。昨日の山と違い、登山者が多い。車のナンバーを見てみると関東圏が多い。中間付近は緩やかになって楽になる。

▼何箇所かに案内の標識が立っているので助かる。尾根に取り付くと傾斜がきつくなり、元の道は雨水のために深く掘れていて、その両側が道になっている。ほとんど休まず高度を上げる。登り詰めると南峰(?)だ。ここで左に折れると正面に山頂らしきピークが見えてきた。

▼少しフラットに歩いていくが、両側から笹が覆いかぶさって足元がまったく見えない。慎重に足を運んで山頂直下付近まで来るとマツムシソウ、クガイソウ、シモツケソウなどの花が残っている。もう少し早い時期だとお花畑になっていたそう。写真を撮りながら進んでいくと山頂に出る。

▼標識と三角点、小さな石祠が置かれている。すでに20人くらいの人達が朝食？しながら休憩していてにぎやか。方位盤が置かれているが遠くは雲におおわれている。期待していた浅間

山の眺めも雲の中。曇っていた空だったが、頭の上から青空になっていく。浅間山は次第に裾野から雲が上がっていく。これならばしばらくすれば浅間山が見えると期待して、行動食を摂りながら待機。

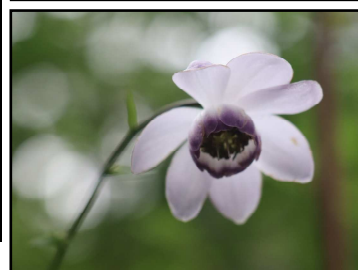
▼空にはたくさんのアキアカネが飛んでいて、景色の写真を撮ると必ず写りこんでいる。どんどん登山者が上がってきてさらににぎやか。ようやく浅間山の雲が切れて全容を現す。しかし、かすんでいて見栄えはイマイチ。それでも期待していた景色を見られて満足。右奥には最近登った湯の丸山や四阿山も見えている。大パノラマの美景を見ることができなかったが、初期の目的を果たすことができた。

▼団体が下るといっているので、その前に山頂を辞す。登ってくる人を待ち、下る人を追い越し、最後にもう一度レンゲシヨウマの写真を撮って登山口に戻る。車は少しだけ少なくなっていた。

▼温泉に浸かりたいと思って立ち寄るも、料金が高かったり、混雑しているためにあきらめ、そのまま糸魚川まで帰って、通いなれた？ヒスイの湯となってしまった(+_+)。

▼アプローチがかなり遠くて大変だったが、20年ぶりに再訪出来てよかった。

▼タイム＝二度上峠登山口 8:50…10:30 浅間隠山 11:15…12:10 登山口



【写真】**上**浅間隠山山頂にて 中央奥に浅間山が見えている
左レンゲシヨウマノ花を見ることができた！